

第
32
回

人間らしく働くための 九州セミナー

第2報



2022
9.16 発行

第32回九州セミナーのシンポジストが決まりました！

第1日 10月29日(土)

□ シンポジウム1 15:00~17:30

「病気や障がいのある労働者の働く権利」

- 1) 障害と労働 「働きたいと思った当事者がたくさんの選択肢の中から仕事を見つけられる社会(課題)」

◇岩岡 美咲さん(北九州市立大学大学院生)

岩岡美咲さんは、高校生時代に体操競技中の事故で頸椎損傷をうけ、人工呼吸器を装着し、移動も車いす利用となっています。その後、北九州大学を卒業し、現在は大学院で学びながら「介助付き就労」をされています。当事者の立場から問題提起して頂き、働きたいと思った当事者がたくさんの選択肢の中から仕事を見つけられる社会をどう実現していくのかを一緒に考えます。

- 2) 病気や障がいのある労働者に対する「合理的配慮、両立支援」

◇埜田 和史さん(働くものの命と健康を守る全国センター理事長・びわこリハビリテーション専門職大学教授)

「治療」と「就労」の両立支援を考える際には、①患者の視点、②事業所の視点、③医療機関・主治医の視点が必要と言われています。この3つがうまく連携しないと両立支援はできません。がんやメンタル不調者などの疾病を持つ労働者の治療と職業生活の両立、さらに障害を持つ労働者への合理的配慮について概説して頂きます。

- 3) 過労死・精神障害のメンタル不調者の職場復帰支援

◇井下 顕さん(弁護士、六本松総合法律事務所)

メンタル不調者が安心して療養し回復後の就労を補償する制度の確立が求められています。しかし、病気休職制度を利用した人の退職率は高い水準にあり、メンタル不調者に対する復職支援における合理的配慮が課題と言えます。脳心臓疾患や精神障害による労災申請にかかわってこられた立場から、労働者のメンタル不調の職場要因とともに、復職に関する職場の改善や配慮に関する報告をしていただきます。

- 4) 治療機会の喪失と社会経済要因

◇川路 潔さん(全日本建設交運一般労働組合九州支部 執行委員長)

病気になっても診断の遅れや経済的理由などで適切な治療機会が奪われ、症状が悪化する事例は多数あります。これまで職業病の罹患患者の掘り起し、労災申請に労働組合で取り組んで来られた立場から、職業病患者は在職中に適切な診断と治療を受けることができないのかを、事例をもとに報告していただき考えます。

次ページに続く ↓

5) 高齢労働者への合理的配慮

◇渡邊 宏さん (福岡県労働組合総連合 事務局次長)

近年、高齢労働者が増加しており、60歳以上の労働災害が増えています。国も「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」を出していますが、その対策・対応は不十分です。福岡県労連の労働相談センターには、多くの高齢労働者の労働相談が寄せられています。労働相談事例をもとに、高齢労働者の健康に働き続ける権利と「合理的配慮」について考えます。

第2日 10月30日(日)

□シンポジウム2 9:50~12:20

「病気や障がいのケアと労働」

1) 子どもに障がいがあったら働けない？

◇安中 知恵さん(「子どもに障がいがあったら働けない？」実行委員会)

障害のある子どもの母親の就労と生活状況は深刻です。安中さんは障がいを持つお子さんの母親で、オンラインセミナーを開催し多くの仲間を励ましています。障がいのある子どもの保育・教育の課題とともに、主なケアラーとされている母親の健康に働く権利実現に向けた実態と課題の解決方法について提案いただき一緒に考えます。

2) ヤングケアラーと就労 「障害」のある人の「きょうだい」

◇仲田 海人さん(那須塩原市ヤングケアラー協議会、栃木県ケアラー支援に関する意見交換会委員)

仲田さんは、障害のある人の「きょうだい」としてケアに携わり、高校卒業後は大学で福祉や医療を学び、現在の作業療法士の道に進まれました。いまは夢であった介護ロボットの政策に福祉分野の専門職として携わることができ、「やりたいことにかかわれている」と受け止めていると言います。著書「ヤングでは終わらないヤングケアラー」で、「きょうだい」「親」「支援者」「専門家」といったたくさんの方で支えることが重要で、必要な人に届く福祉を強調されており、この分野についてともに考えます。

3) 介護と労働

◇緒方 弘征さん(親仁会米の山病院 医療ソーシャルワーカー)

働き盛り世代の介護離職は深刻な問題です。いったん離職すると再び正社員に戻ることが困難という実態があります。医療ソーシャルワーカーとして、病院や地域包括センターで多くの介護支援を行っている経験から、介護と仕事の両立の実態と必要な支援について報告して頂き介護と労働について考えます。

(お問合せ) 第32回人間らしく働くための九州セミナー実行委員会 <http://kyusemi.jp/>
〒804-0049 北九州市戸畑区天神 1-13-13 シティルーム天神 1F 九州社会医学研究所内
事務局 日高 ☎093-871-0449 Email: seminar@k-shaiken.jp